

平成30年度6月期福岡家庭裁判所委員会議事要旨

1 開催日時

平成30年6月12日（火）午後1時30分

2 場 所

福岡家庭裁判所大会議室

3 出席委員

石川明広委員，江島滋美委員，長田守弘委員，鬼束信安委員，岸和田羊一委員，佐藤道恵委員，平直子委員，野々村淑子委員，橋山吉統委員，花原明博委員，林田宗一委員，深堀寿美委員，船津邦比古委員，向野剛委員（五十音順）

4 事務担当者

大橋首席家裁調査官，立岡家事次席家裁調査官，野間総括主任家裁調査官，岩永主任家裁調査官，清原家事首席書記官，親川家事次席書記官，木村幹人事務局長，坂口宜隆総務課長

5 テーマ

子の利益を最優先して考慮する家事調停の取組（「親ガイダンス」）について

6 議事概要

(1) 開会

(2) 岸和田委員（福岡家庭裁判所長）挨拶

(3) 委員長の選任

委員の互選により，岸和田委員が委員長に選任された。

(4) 委員長代理の指名

委員長は，向野委員を委員長代理に指名した。

(5) 新任委員自己紹介（林田（宗）委員）

(6) 報告

親川家事次席書記官から、前回委員会（テーマ：当事者のニーズを踏まえた家事調停の運営について）後の取組について報告を行った。

(7) 協議

ア 説明

(ア) 子の利益を最優先して考慮する家事調停の取組（「親ガイダンス」）について、岩永主任家裁調査官から説明を行った。

(イ) 「親ガイダンス」（福岡家裁作成）のDVD視聴

イ 意見交換

（以下、発言者は、◎委員長、○委員、◇事務担当で略記する。）

説明・DVDについての感想・質問

○ 大変詳しく説明されたDVDとパンフレットだと思う。これを見ることで、当事者の方々は離婚に伴う問題を実感することができるだろうと思った。

○ 面会交流の大切さなどがよくまとめられており、同じような問題を抱えている知り合いにも是非視聴させたいと思うくらい非常に参考になるDVDだと思う。また、このDVDは問題がこじれる前を見た方がよいものだと思う。

○ 実際の場面では、DVDを見ながら、パンフレットも見られるのか。

◇ DVDの視聴は内容に集中していただきたいので、パンフレットはDVD視聴後に交付して、振り返りに使っていただくことにしている。

○ 事前にパンフレットも渡しておいて、パンフレットを確認しながらDVDを視聴する方法も良いのではないかと思う。また、DVDとパンフレットの項目を合わせたり、DVDに描かれていた「メ

ッセンジャー」や「サポーター」など端的でわかりやすい表現をパンフレットにも記載すればよりイメージが掴みやすくなると思った。

DVDやパンフレットは、家庭裁判所の手作りなのか。

◇ 見ていただいたDVDは当庁で作っているが、他庁のDVDを参考にしながら作っており、多少表現は違うが、内容は基本的に同じである。

○ 手作り感が出ているのは良いが、セリフの抑揚など、プロが作ることでよりわかりやすいものになることもあると思うので、今後全国で統一的なDVDが作成されるとよいのではないか。

◇ 今後どのようなものを作成するかについては検討が進んでいるところである。

○ DVDの視聴とは別に、職員が説明する機会はあるのか。

◇ このDVDは、調停までの待ち時間に視聴してもらうことを予定しており、視聴後に家裁調査官がDVDの感想等の話を伺っている。調停手続の中でも、視聴いただいた内容を基に調停委員が話を伺っている。

○ 当事者としては、DVDを視聴するだけでなく、個別の事情に応じて職員から説明を受ける機会があれば、より理解が進むのではないかと思う。

◎ DVDを視聴している間は、家裁調査官は同席しているのか。

◇ これまでは家裁調査官が同席し、視聴後に感想を伺う運用としているが、今後の運用については、現在、検討しているところである。

○ パンフレットの中で、離婚する親が子どもに持つ罪責感について触れてはどうかと思った。また、パンフレット7頁に「離れて暮

らす親は、お子さんの日常生活や一緒に暮らす親との関係に配慮しながら、面会交流を実施しましょう。」と記載されているが、それは当然のことであり、わざわざ記載する必要があるのか。

○ 御指摘された一文は、お子さんに会いたい一心になると相手のことを考えず、自分の面会交流を優先してしまいがちになるため、相手への配慮の必要性をあえて記載しているものだと理解している。

○ 調停で面会を求める側の立場から言うと、この部分を理由に面会を拒む方がいることから、この記載の必要性には疑問もある。

また、「子の福祉」を考えるためのポイントについて、DVDで示されていた内容の中にパンフレットには記載されていない事項があった。大切なことなので記載した方がよいと思う。

○ DVDは、親が悩むことがよく描かれており、離婚を考えている方に役立つと思ったが、DVDとパンフレットのどちらも養育費の説明が面会交流に比べて非常に少なく、「親ガイダンス」としてはどうか。面会交流と養育費は必ずセットで議論されるものなので、裁判所が作成したDVDやパンフレットとして、説明に偏りがあるのはどうかと思う。

また、パンフレットの1頁に「お子さんの生活の質を高め、健康な発育を支える大切な費用です。」と記載されているが、私としては養育費は子どもの生活を根底から支えるものというくらい大切なものだと考えている。

○ パンフレット7頁に記載の「離れて暮らす親は、お子さんの日常生活や一緒に暮らす親との関係に配慮しながら、面会交流を実施しましょう。」という部分は、その上に記載している「一緒に暮らす親は、離れて暮らす親に対する否定的な感情を可能な限り抑

えて、お子さんが前向きに面会交流に臨めるように協力をしましょう。」という部分とセットであり、つまりお互いに配慮しましょうという趣旨だと思っている。

面会交流は親双方の感情面の調整が非常に難しいという背景があり、今回親ガイダンスのDVD等を作成したと理解している。一方、婚姻費用や養育費については、そこに感情の調整はそれほど必要なく、比較的、形式的に速やかに処理ができるものと理解している。

- DVDは、基本的な考え方を理解するには良いと思ったが、当事者の行動基準としては不足しているのではないか。ただ、これ以上の情報を盛り込むと長くなってしまうという問題もある。

以前1階ロビーで上映していた面会交流のビデオは、実例に即した内容で当事者の行動基準の説明があったように記憶しているが、そのビデオはどうなっているのか。

- ◇ 御指摘があったビデオは最高裁判所のウェブサイトにも掲載されているものだと思うが、8月に移転予定の新庁舎でどのように使用するか現在調整中である。

- 親ガイダンスを実施して肯定的な意見が多かったということだが、否定的だったり、実施して難しかった点はなかったか。

- ◎ この親ガイダンスの狙いや対象も含めて、今の御質問の点はどうか。

- ◇ この取組は、民法の改正等で示された子の福祉をより重視して調停を進めていくということが契機となっており、手続の早い段階で一般的に知っておいていただきたい情報を提供するものである。

当庁では15歳未満の子がいる夫婦関係調整調停事件の当事者

の方を対象に親ガイダンスを実施しているが、夫婦間に激しい暴力があったケースなどは対象から除いている。

当事者の方によっては、DVDを視聴して一般論としては理解されても、自分自身のこととして捉えることが難しい方や、内容に反論される方もいるが、そういう方には調停を進める中でどの辺りに理解していただけない部分があるのかなど話を伺い、子の視点から良い解決を考えてもらうためのきっかけにしている。

○ このDVDは、とても丁寧でわかりやすく、非常に参考になると思った。ただ、パンフレットのサイズが小さく、字が非常に小さいため、改善の余地があると思う。内容については、例えば離婚の影響を受けて不登校になった子どもに関する相談窓口など、調停後のケアまで含めた情報を記載できると良いのではないか。

○ 子どもの非行や虐待がある家庭の中には、離婚などによって環境が変わった家庭が多い気がする。離婚に至る前に子どもに与える影響を知っておくことはよいと思う。

「子の福祉」という言葉は、例えば「子の成長」など平易な言葉にした方がよいのではないか。

○ DVDは大変わかりやすかった。パンフレットには、親権、面会交流、養育費が問題になるということが書かれており、これから離婚の調停を行う方が自分なりに考えられるものになっていると思った。パンフレットを交付するのは、調停の初回期日ということだが、予め渡すことができれば、もう少し自分で考える時間が持てて、調停もスムーズに進むのではないか。

(5) 次回テーマ

未定

(6) 次回期日

平成30年12月12日（水）午後1時30分